

今月は楽しみながら食文化に触れることができる絵本を紹介します。

『干したから… ふしぎびっくり写真えほん』

森枝 卓士／写真・文 フレーベル館 2016年 ¥1,400(税別)

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 小低学年★★☆ 小中学年★★★ 小高学年★★☆ 中学生★☆☆
高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

表紙には干した果物の写真。色とりどりで美味しそうです。この本は、干した食べ物についての写真絵本です。しいたけ、梅干し、ほし柿、パスタ…私たちの身の回りにはいろいろな「干したものの」があります。干さなくても食べられるのに、なぜ干すのか、干したらなにが変わるのかについて話が進みます。カツオからかつお節ができる様子もあります。知らなかった子もいるのではないのでしょうか。

本では世界の干したものも紹介していきます。ネズミやカエルの干物を売る市場、干しバナナを作る人、屋根の上で干されるチーズなど、異国の暮らしを知ることができます。

鮮やかでわかりやすい写真と共に、自然の恵みと人間の知恵を感じることができる1冊です。

<子どもに手渡す時のポイント>

最初のページには赤い色をした「干したもの」が載っています。「これ、なーんだ？」と問いかけてみてください。ページをめくるとその正体と、干されて変化していく様子がわかりますので、紹介の導入に使ってみてはどうでしょう。

最後のページには、実際に干し野菜を作る方法がついています。家庭で簡単にできますのでよかったらこちらも案内してください。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。